

鳥取環境大学と(財)とっとり地域連携・総合研究センターの一元化案(試案)

平成23年1月
新生公立鳥取環境大学
設立協議会事務局

- 鳥取環境大学(以下「大学」)の公立化を契機に、今までの(財)とっとり地域連携・総合研究センター(以下「TORC」)の成果を継承し、鳥取県における地域経営、地域活性化の研究及び実践活動をより一層推進するため、大学とTORCとの一元化の検討を進める。

- ・TORCは、これまで鳥取県内の様々な地域において、地域と連携した調査研究・活動支援を積極的に推進し、実績を積み重ねている。
- ・大学がこのような実績を持ったTORCと一元化のもと融合的に研究・教育活動を行っていくことは、大学にとっても地域との接点を拡大することにつながり、幅広いネットワークの形成、学生参画の機会の増大など様々な効果については大学としての魅力向上が期待できる。
- ・TORCにおいても、幅広い分野の大学の教員、とりわけ経営学部の教員や学生との連携により、調査研究・活動支援の充実が期待されると思料。
- ・更には、一元化後には、地域づくりに係る人材育成に新たに取り組み、地域貢献活動の幅が拡大していくことも期待。

(組織形態)

- ・公立化にあわせて、TORCを大学の「地域連携研究センター(仮称、以下「センター」という。)」として改組する。
- ・センターは大学の学長の下におく附置機関とする。
- ・TORCの研究員については、実績を勘案しながら教員資格を与え、大学の教員、学生等と一体となって地域連携活動を実施。

